

# インテレクチャル・カフェ広島

- 若手研究者を核とした「知」の融合 -



## < “インテレクチャル・カフェ広島”の趣旨 >

広島地域における大学等の若手研究者と、産業界・金融機関・行政等が交流し、新技術・新製品の開発や新事業を生み出すネットワークの形成を目指します。

## < 平成23年度 第3回開催日時等 >

日時：平成24年1月27日（金）17：30～20：00

テーマ：バイオ分野 『ゲノム情報を用いたタンパク質酵素の産業応用』

場所：ひろしまハイビル21（17階）（広島市中区銀山町3-1）

定員：80名程度

参加費：2,000円

主催：中国地域産学官コラボレーション会議

共催：広島大学、近畿大学工学部、（独）産業技術総合研究所中国センター（幹事）

## < 概要 >

17:30～17:35 開会挨拶 （独）産業技術総合研究所 中国センター 所長 **中村 修** 氏

17:35～18:00 話題提供

『バイオマス有効利用を目指した耐熱性酵素の開発』

（独）産業技術総合研究所 バイオマス研究センター

主任研究員 **石川 一彦** 氏

18:00～18:25 話題提供

『細胞1個当たりの生体分子の簡易定量方法の開発』

広島大学大学院 理学研究科 准教授 **島田 裕士** 氏

18:25～18:50 話題提供

『極限酵素の産業利用 - 微生物が持つ酵素から新たな可能性を探る - 』

近畿大学工学部 生物化学工学科 教授 **仲宗根 薫** 氏

19:00～20:00 交流会（軽食と飲み物による立食形式）



## [ 会場アクセス ]

- ・ JR 広島駅から、バス（市内線）または市内電車で約5分（「銀山町」下車）
- ・ ビル1階が「広島銀行 銀山支店」です
- ・ 入口はビルの西側にあります

## < 話題提供の概要 >

### 『バイオマス有効利用を目指した耐熱性酵素の開発』

石川 一彦 氏 (産業技術総合研究所 バイオマス研究センター)

極限環境下(高温、高圧、高塩濃度等)で生育する特殊な微生物が発見され第三の生物界アーキアと名付けられました。1995年、(独)産業技術総合研究所では、世界に先駆けアーキアの遺伝子情報を解析し、それらが生産する超耐熱性酵素の産業利用を開始しました。

本講演では、バイオマス利用に関わる超耐熱性セルラーゼの発見と実用化についてご紹介します。

### 『細胞1個当たりの生体分子の簡易定量方法の開発』

島田 裕士 氏 (広島大学大学院 理学研究科)

近年、生体1細胞における生体分子の同定について様々な方法が報告されていますが、いずれも高価な機器と高い技術力を必要とするものです。これを容易にまた、比較的低価格な方法として、リアルタイムPCRマシンを用いた「細胞1個当たりの生体分子(mRNA・タンパク質・代謝産物)の絶対数の定量方法」を開発しました。

本講演では、簡易測定方法と、その応用事例をご紹介します。

### 『極限酵素の産業利用 - 微生物が持つ酵素から新たな可能性を探る - 』

仲宗根 薫 氏 (近畿大学工学部 生物化学工学科)

乾燥した岩塩のような環境や、深海のような高圧力の環境に適応する微生物がもつ酵素は、将来の有用物質生産にとって役に立つ可能性を秘めています。高濃度の塩や有機溶媒存在下、また高圧力・低温条件下で、有利な化学反応を進められるからです。

これら微生物の生活スタイルや環境適応、また有用物質生産の利用可能性についてご紹介します。

申込先 幹事：(独)産業技術総合研究所 中国センター 行き

FAX: 082-420-8281 E-mail: c-renkei@m.aist.go.jp

申込期限 平成24年1月24日(火)〆切

問い合わせ 幹事：(独)産業技術総合研究所 中国センター

TEL: 082-420-8245 担当：松井、藤井、高橋

お申し込みの際にご提供いただきました個人情報、以下に掲げる目的に限り使用致しますので、事前にご確認・ご了解のほどよろしくお願い致します。

- ・申込み内容の確認
- ・参加登録者の名簿作成(名簿記載事項は、所属会社名(団体名)、役職、氏名)及び主催、共催機関による共有
- ・中国地域産学官コラボレーション会議から産学官連携に関する各種情報のご案内 以上

## 『インテレクチャル・カフェ(1月27日)』

### 参加申込書

会社名(団体名)		
住所	〒	
連絡担当者	担当者氏名	
	(TEL)	(E-mail)

#### 【参加者】

部署	役職	氏名